広島大学学術情報リポジトリ
Hiroshima University Institutional Repository

Title	テオクリトス 第十二歌「愛される者」
Author(s)	八木橋, 正雄
Citation	プロピレア , 25 : 146 - 150
Issue Date	2019-08-31
DOI	
Self DOI	
URL	https://ir.lib.hiroshima-u.ac.jp/00048253
Right	Copyright (c) 2019 日本ギリシア語ギリシア文学会
Relation	

翻訳

テオクリトス　第十二歌「愛される者」

八木橋　正雄　訳

いらしてくださって？　いとしき若者よ、
　三度目の夜明けの時に。
あなたさまは来られた、
　なれど待ち焦がれた者には憔悴の日々でした。
春が冬よりも心地よいように
林檎が野の李より美味であるように
牝羊が仔羊よりふさふさしているように
乙女が三度結ばれし女性にまさるように
小鹿が牝牛たちよりも身軽なように
小夜なき鳥の透き通った声が
　外の鳥すべての声よりも美しいように
あなたさまはどれほどの歓喜で
　私を満たしてくれるのでしょうか
熱い陽の下を旅する者がブナの木陰に急ぐように。
もし愛神よ、双方に霊感を授け給うなら　一〇
この歌がこれからの世代に詠み継がれることを
　祈念します。
「今までに誰か、この二人よりも互いに愛し愛され、
　天秤の竿の釣り合いのように、
ひとりは愛する者、アミュクレスの者
ひとりは愛される者、テッサリアの者
おそらくは黄金の世紀の、愛し・愛し返す者の、
　再来となられるでしょう。」
そのように、父なる神クロノスの子よ、叶えてください、
老いを知らない不死の者、二百世代後に
誰かが私に、告げてくださるように、
再び帰らぬアケロンの河辺にて。
「今、あなたさまへの友愛は、
　すべての者の唇にのぼっています、
とりわけ若い人の唇に」　二〇

しかしおそらく至高天にお住まいの方々が、
お望みのようにこれらのことごとを超えて
　はるか高みから、
見守っていることでしょう。
仮令あなたさまの美しさを誉め称えたとしても
私の細い鼻の上に、虚偽の言の罰が
　生えたりなどはしません。
またあなたさまが苦悩を私にお与えになっても
あなたさまはすぐに傷を癒してくださいますし、
願っていた想いのそれの倍ほども私に歓喜を
　くださられ戻ってこられる。
櫓に巧みなメガラのニサイアの人々、ご多幸であれかし、
子供たちを愛されし　アテナイの客ディオクレスを
　誉め称えてくださったから。
毎年、春のはじめに少年達は、ディオクレスの奥津城の
まわりに、接吻の誉れ奉げましと賞を争うがために集う。
　三〇
唇により甘い口づけをした子は栄冠の花冠を
　いただいて母のもとへ走り去る。
幸いなる人、子供たちからそのような口づけを
　審判する者、
幾たびも唇から呼び奉らうは蒼き眼のガニュメーデスを。
あたかも両替商が黄金を真なるかと識る
　リディアの試金石のごとく。

【注】

ニサイア：アテナイの西、サロニケ湾にある、メガラの港。
ディオクレス：エレシウスの支配者であったがアテナイ王テセウスに追放されメガラに亡命したのち愛する少年を匿って殺された。

【解説】

テオクリトスとテオクリトス第十二歌

テオクリトス第十二歌は、愛する者と愛される者とが同じ「情熱」に満たされるということが、黄金時代にはあり得た、そして二百世代後にも実現するかもしれない、しかし、今の時代にはそのようにはいかない、しかし相思相愛の愛の実現は困難であるがいつか成就されよう旨、

歌っています。

テオクリトスが実現しようとした愛の理想論です。テオクリトス全三十二歌のうちで、もっとも述べたかった愛の姿です。

テオクリトスは、作品がすべてで、検証可能な「伝記」の類は皆無です。紀元前三一〇年から三〇〇年頃から紀元前二七〇年から二六〇年頃が生没年と推定されています。シチリアのシラクサに生まれ、シチリアのヒエロンに頌歌（十六歌）を献上しています。南イタリアを経て、コス島に滞在し、アレクサンドリアで文芸愛好家のプトレマイオス二世の庇護を受け名声を享受したものと思われます。

テオクリトスの愛の歌は、まだ神々が宿ると信じていた自然を背景にし、人里離れた田舎で、単純で、純粋、素朴な愛を主題にし、ヘレニズム時代の田舎の落ち着いた社会が根底にあり、あたたかい生命と豊かさに満ちています。

テオクリトスの詩は古くから「エイデュリオン」と呼ばれ、自然の情景とその人物とが「小情景詩」として親しまれてきました。このエイデュリオン(Idyll)の継承が、ウエルギリウス、カトウルス、現代イタリアのジャコモ・レオバルディ、イギリスのポープ、アルフレッド・テニスン、ウィリアム・ワーズワース、ドイツのゲーテ（ヘルマンとドロテーア）等にその詩形（ヘクサメトロス）とともに伝えられています。

テオクリトスの「愛」の特質は、恋人が愛する者の「愛」に応えてくれないとき、相思相愛のようになっても憧れが満たされることはなく、仮令そうであっても長続きしない、人を愛するということは本質的に苦痛を伴うことだということです。

そして、テオクリトスの治癒法は、『詩だけが恋の悩みを和らげる』ということです。情念や感傷ではなく、詩作という知的営みにより客観化して観念的に高い次元で相対化することです。美しいものを美しいものと認め、美的感性を歓喜として客観化し「歌」を通じて昇華することなのです。

【参考文献】

底本　ガウの校訂本 (Gow, A.S.F., *Bucolica Graeci*,

Oxford 1952)
翻訳　八木橋正雄訳『牧歌・エイデュリア』私家版。一九八一～一九八五（四部冊）
論文　古澤ゆう子「テオクリトスの牧歌における恋の癒し」（日本エーゲ海学会「エーゲ海学会誌」九号、一～一八）一九九五、十月
翻訳　古澤ゆう子訳『牧歌』京都大学学術出版会、二〇〇四

【ローマ字翻字トキヤヘイ】

Eluthes o file koure, trite sun nukti kai eoi
Eluthes, oi de potheuntes en emati geraskousin,
Oson ear cheimonos, hoson melon brabiloio
Hedion, osson ois sfeteres lasiotere arnos,
Hosson parthenike profere trigamoio ginaikos,
Hosson elafrotere moschou nebros, hosson aedon
Sumpanton ligufonos aoidotate peteenon,
Tosson em eufrenas su faneis, skieren d' upo fegon
Eeliou frugontos odoiporos edramon os tis.
Eith omaloi pneuseian ep' amfoteroiin Erotes 10
Noin, epessomenois de genoimetha pasin aoide,

Dio de tine tode meta proteroisi genesthen
Foth, ho men eispnelos, faie ch' Omuklaiazon,
Ton d' eteron palin, hos ken o Thessalos eipoi, aiten
Allelous d' efilesan iso zugo. Ira tot esan
Chruseioi palin andres, hot antefiles o filetheis,

Ei gar touto, pater Kronide, peloi, ei gar, agero
Athanatoi, genees de diekosiesin epeita
Aggeileien emoi tis aneksodon eis Acheronta.
E si nun filotes kai tou chariento saiteo 20
Pasi dia stomatos, meta d' eitheoisi malista.
All' etoi touton men upeteroi Ouraniones.
Essonth os ethelousun, ego de se ton kalon aineon
Pseudea rinos uperthen araies ouk anafuso,
En gar kai ti dakes to men ablabes euthus ethekas,
Diplasion d' onesas, echon d' epimetpon apelthon.

Nisaioi Megares, aristeuontes eretmois,

Olbioi oikeioite, ton Attikonos perialla
Kseinon etimesasthe Dioklea ton filopaida.
Aiei oi peri tumbon aollees eiari proto 30
Kouroi eridrainousi filematos akra feresthai.
Hos de ke prosmakse glukerotata cheilesi cheile,
Brithomenos stefanoisin een es meter apelthen.
Olbios, hostis paisi filimata keina diaita,
E pou ton charopon Ganumedea poll' epibotai
Ludie ison echein petre stoma, chuson opoie
Peuthontai me faulos etetumon arguramoiboi.